

ふれあい 夢 通信

11号

FUREAI YUME TSUUSHIN
子どもを真ん中に、山口県の教育を考える

山口県教育庁教育企画室
編集ホットライン TEL083・933・4531



特集

不安なんかふきとばそう

小 学校や中学校に入学するとき、新しい学校生活への不安を感じていませんか。県教育委員会では、子どもたちが抱える不安を取り除き、新しい環境にスムーズに順応していけるよう、さまざまな事業に取り組んでいます。



小学校・中学校へ入るときに

小学校への入学

がっこうってどんなところ？
おべんきょうってどんなことをするの？
ずっとすわってばかりなの？
おともたち、できるかな？
おにいさん、おねえさんはやさしくしてくれるかな？



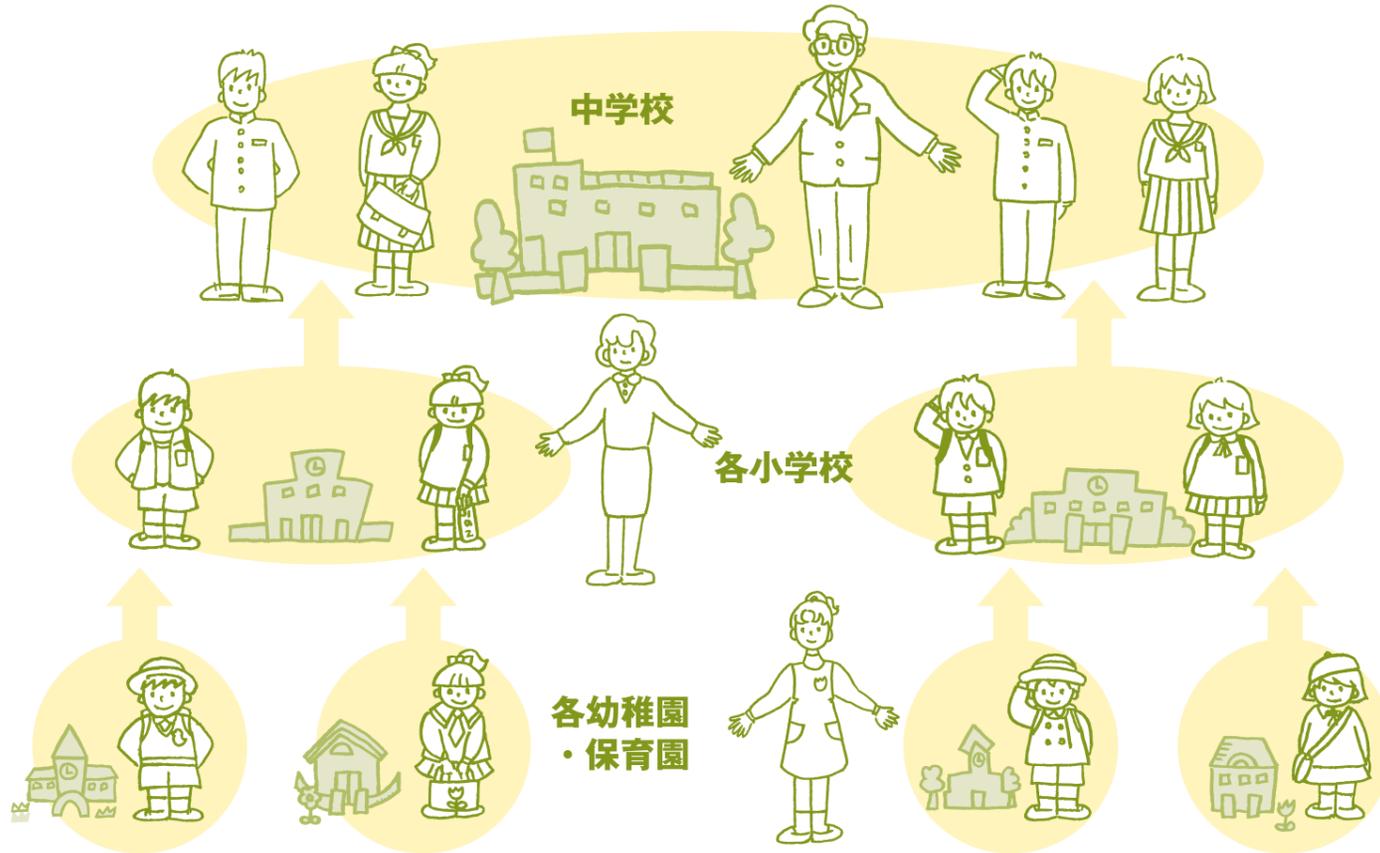
小学校入学前と入学後の生活の違い
小学校での生活や学習へのとまどい
新しい人間関係への不安



子どもたちが一緒に遊んで仲よくなっています。
先生たちが保育や授業をお互いに見合っています。
先生たちが幼児教育や学校教育について話し合いをしています。
保護者が一緒に講演会に参加しています。



幼稚園・保育所と小学校の交流



家庭では

子どもとの会話を増やし、フォローを十分お願いします

県教育委員会では次のような事業に

【地域で育てる幼児教育総合推進事業】

小学校入学前後の滑らかな接続に向け、県内4市町をモデル地域として、幼稚園・保育所・小学校の連携による実践研究を実施しています。各市町では幼・保・小の関係者・保護者、行政機関の関係者等で構成した事業推進連絡協議会を開催し、地域全体で幼児教育に取り組んでいます。また、幼・保・小の交流により、効果的な保育・教育の在り方を研究しています。 1

取り組んでいます

【伸びゆく学び舎づくり推進事業】

10市3町の教育委員会と協力して県内24の小学校で、中学校での学習スタイルに慣れるため、小学校6年生の一部教科で教科担任制の導入や、小中学校の先生方が手を取り合って子どもの個性を伸ばす小中連携教育協議会を実施しています。 2

1 4市町:岩国市・光市・宇部市・菊川町
2 10市3町:岩国市・柳井市・下松市・新南陽市・山口市・宇部市・小野田市・下関市・萩市・長門市・周東町・平生町・小郡町

中学校への入学

先生や先輩はこわそうだなあ。
新しい友だちとうまくやっていけるかな。
部活動は何部に入ろうか。
勉強についていけるかしら。



一人一人の心身の成長に違い
新しい人間関係への不安
中学校での学習へのとまどい



新入生オリエンテーションを実施。
学習面、生活面、部活動など新しく始まる中学校生活のすべてについて説明し、質問を受けます。
相談体制も整えて、温かく迎えます。
困っていること、悩んでいること、それを一人でかかえこまないでください。相談担当の先生やいろいろな先生がいつでもどこでも気軽に相談にのってくれます。



小学校教員による教科担任制の研究

個に応じたきめ細かな指導の充実をめざして

少人数指導

平成13年度から公立の小・中学校において、スタートしました。この「少人数指導」は、教科等の特性に応じて20人程度の少人数のグループを編成し、個に応じたきめ細かな指導を行うことにより、基礎学力の定着や向上を図ることを目的としています。

このため、興味・関心の違いや理解度に差が出やすいような教科、例えば、小学校では、国語・算数・理科、中学校では、英語・数学・理科などの教科を中心として取り組んでいます。

実施にあたっては、興味・関心別、課題別、さらには理解の状況等に応じたグループの編成を工夫したり、教材、指導方法を改善したりするなどして個に応じた指導に努めているところです。

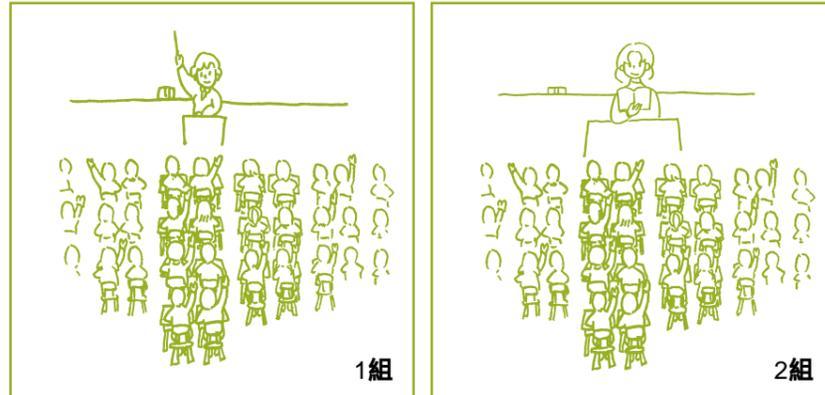
本年度から始まったばかりで、各学校においてはいろいろな取組みがなされていますが、今後、より成果があがるような工夫を重ねていく必要があると考えています。



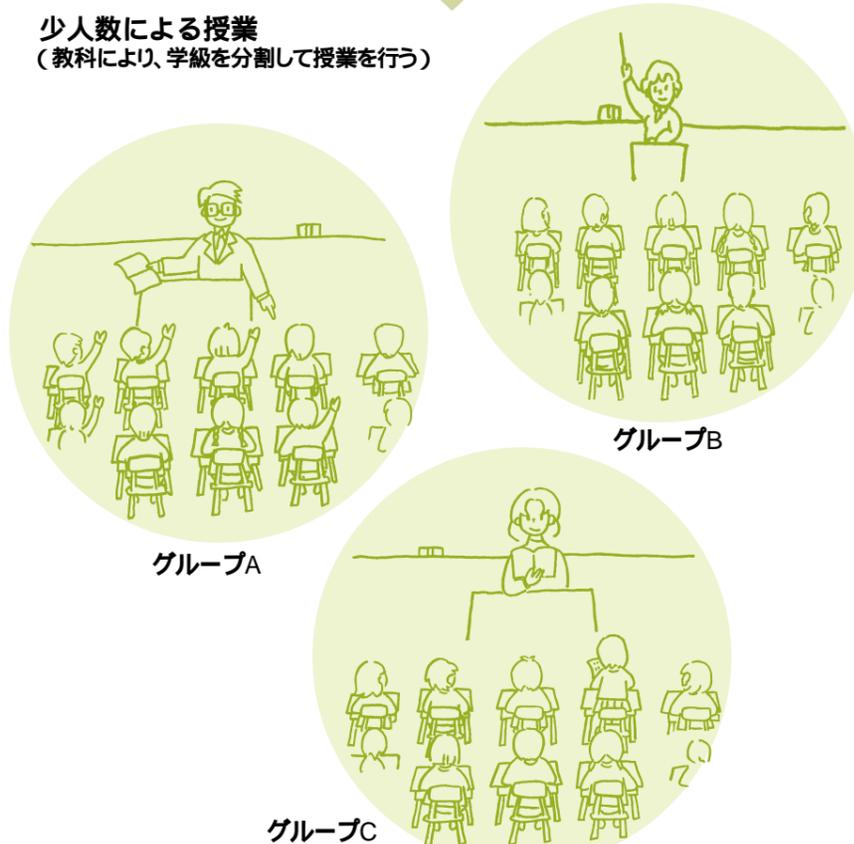
基礎基本のよりよい定着をめざしたコース

例 2学級を3つに分割する場合

一斉授業
(学級単位で授業を行う)



少人数による授業
(教科により、学級を分割して授業を行う)



FUREAI KOUSATEN
ふれあい交差点
11

コスモス・ジャングル探検隊! 菊川町立檜崎小学校

檜崎小学校の1,2年生と隣接する町立檜崎幼稚園の園児が、いっしょにコスモス畑に行きました。園児たちにとっては長い道のりでしたが、1,2年生のお兄さん・お姉さんの手をしっかりと握



みんななかよく手をつないで

りがんばって歩き続けました。やがて目の前に大きなコスモス畑が広がると、子どもたちはとたんに元気になりました。

コスモスは雨のせいでもかなり倒れていましたが、子どもたちの目線に近いところに花が咲き、かえって好都合だったようです。畑の持ち主の方が作ってくれた「花の迷路」で鬼ごっこやかくれんぼをしたり、手に持ちきれないほど大きな花たばを作ったり



「花の迷路」で元気いっぱい!

子どもたちは思い思いに楽しんでいました。学校に帰り着いた時には少し疲れた様子も見られましたが、この日の給食はいつもよりずっとおいしかったことでしょう。

お母さんになるってたいへん 美川町立美川中学校

美川中学校の1年生10名が、総合的な学習の時間を使って妊婦体験をしました。この体験学習は、10か月の子がお腹にいる状態を疑似体験できるもので、言葉だけでは伝わりにくい親子



歩くだけでもたいへんだね

のつながりや命の大切さを理解してほしいと今年から取り組んでいます。

12kgの器具を付けた生徒たちは、歩く、椅子に座るといった普段している動作さえ思うようにできないことに戸惑っていました。また、新生児人形を使った体験では、首がすわらない赤ちゃんを抱えることの難しさを実感しました。

授業後、生徒からは「お母さんやお父さ



パパになるってどんな感じ?

んはたいへんだったんだな。私も将来がなりたい。」という感想が聞かれました。子どもたちは、大切な命が自分だけのものではなく、愛情に育まれてこまで成長してきたことあらためて気付いたようです。

まちのコミュニティスペース 県立防府商業高等学校

防府商業高校の生徒26名が商店街の空き店舗を利用して「防商ホットショップ」を運営しています。この取組みは、単なる販売実習にとどまらず、地元の方とのふれあいを通してさまざまなこ



恥ずかしがらずに「いらっやいませ」

とを学ぶ目的があります。

今年は農産品やリサイクル品を取り扱う従来のスタイルに加え、初めて駄菓子屋にも挑戦しています。生徒たちは4月からアンケートなどのリサーチ(調査)を行って、商店街の利用者には高齢者が多いことやコミュニティスペースを望む声が多いこと知り、利用者がくつろげる場所を作ろうと準備を進めてきました。



ラムネは子どもにも大人気です

店では昔懐かしいお菓子やラムネなどを取り揃えるとともに、地域の人を交えてオカリコンサートや竹とんぼ作りなどのイベントを行い、お年寄りから子どもたちまで幅広い年代に親しまれるようがんばっています。

わたしたちの学校ではこんな芸術・文化活動への取り組みをしています。

小学校では

先生は世界の指揮者!
岩国市立杭名小学校・シンフォニア岩国

夏休みも残り少なくなったある日、いつもの音楽室は、見なれぬ先生と、珍しい楽器群、そして、つめかけた人々の熱気であふれていました。

世界的な指揮者、佐渡裕さんが先生になり、杭名



僕にも音が出せた!

小学校の児童を対象に音楽の授業が行われたのです。シンフォニア岩国主催のコンサートの一環として行わ

れた、この「佐渡裕の音楽教室」には、保護者をはじめ多くの先生方や地域の方々の参観がありました。

「音が出た!」ヴァイオリン、トランペット、フルートなど

初めての楽器に挑戦した子どもたちの驚きと喜び...。「この感動が音楽することの第一歩! 恐れずあきらめず



音楽を熱く語る佐渡裕さん

何事にも挑戦してほしい。」音楽や生きることのすばらしさを、情熱的に話された先生のやさしいまなざしが印象的でした。



佐渡裕 京都市立芸術大学卒。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾に師事。89年「プザノン国際指揮者コンクール」優勝。95年「第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール」優勝。現在コンセル・ラムルー管弦楽団の首席指揮者を務めるなど、世界各地で活躍する指揮者。

中学校では

最高の芸術を身近に感じよう
楠町立吉部中学校

吉部中学校の全校生徒18名がマイクロバスに乗って2つの県立美術館を巡り、大規模企画展を鑑賞しました。この行事には、日頃芸術に接する機会が少ない生徒たちが優れた美術作品にふれ、豊かな心を育



心に残る作品はありましたか?

んで欲しいという願いが込められています。

最初に訪れた山口市の県立美術館では来館者の多さに

戸惑いつつ、生徒たちは作品に近づいたり離れたりしながら思い思いにモネの作品を鑑賞しました。美術鑑賞は初めてという生徒もいましたが、本物の芸術作品を見て感動していました。

次に訪れた萩市の県立萩美術館・浦上記念館では、まず学芸員から展示さ



鑑賞前に絵や歴史のお勉強

れている作品の特徴や時代背景について説明がありました。その中で、展示されている浮世絵の四隅にはゴッホが画紙で壁に貼ったときに空いたかもしれない



本物の迫力に圧倒されています

い小さな穴があるという話を聞き、生徒たちは芸術を身近なものと感じ始めていたようでした。

高校では

輝きを求めて~バンド活動~
県立長府高等学校

713名の女子生徒が通う長府高校には、20年以上の伝統をもつ軽音楽部があります。9月の文化祭を最後に3年生が引退したため、現在は1、2年生の4つのバンドが活動しています。



取り組み態度に応じて練習場を割り当て

軽音楽部には当初からバンド単位で入部し、最後まで同じメンバーで活動します。卒業生の中には専門

門学校などに進学した後も同じメンバーで活動を続け、ついにはプロデビューするバンドも現れました。また2年前には軽音楽部に所属するバンドのオリジナル曲を集めたCDが制作され、後輩達の大きな励みとなっているようです。

練習場となる視聴覚準備室



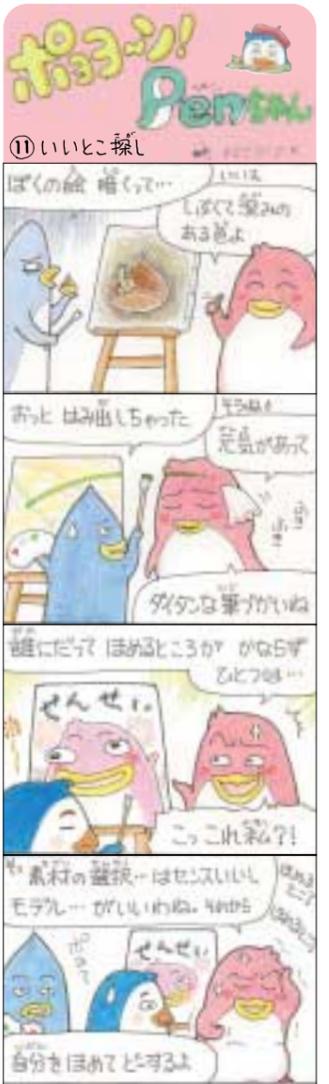
狭いけれど熱気がみなぎっています

や空き倉庫などは、騒音防止のために窓を開けることができず、冷暖房設備もないので、夏はサウナのようになり、冬はすぐに手がかじかむとのこと、それでも生徒



毎日休まず練習することが大切

たちは、それぞれの夢に向かって一所懸命に練習を続けています。



鏡前だつて 取り方ひとつで 長所にかわる。どーせならいいとこ探してみよう。

ひと言

豊かな人生を子どもたちに



秋吉台国際芸術村副村長 上原 久生

芸術や文化は、私たちの生活や人生を豊かにしてくれるものと思います。

秋吉台国際芸術村を訪れた多くの芸術家は、人生・芸術の基本は「愛」だ、と言います。芸術を通じて人は感動し、感動した人は素直になり、優しくなります。他者への思いやりが生じ、大きな愛が育まれてくると思います。

芸術村では子どもを対象に、「育成」と「創造の場の提供」を目的として、多くのプログラムを実施しています。音楽、演劇、美術等のセミナー、ワークショップ、等々です。また、シンフォニア岩国などの公的会館でも、コンサート・演劇等の公演のみでなく、子ども向けの芸術・文化支援プログラムをたくさん行っています。多くの子どもたちがこれらを利用して、芸術・文化のすばらしさを体験し、豊かな人生を歩んでいくことを望みます。

イベントカレンダー

1 / 12(土)~1 / 13(日)
 冬の十種ヶ峰に挑戦

対象 / 小学5年生~中学3年生
 定員 / 40名
 県十種ヶ峰青少年野外活動センター
 ☎08395-8-0033

1 / 25(金)~27(日)
 土星を見る会

対象 / 一般県民 当日自由参加
 県立山口博物館 ☎083-922-0294

1 / 26(土)~27(日)
 遊ぼうよ 英語で

対象 / 子どもとその家族
 定員 / 50名
 県油谷青年の家 ☎0837-32-1000

2 / 9(土)~2 / 10(日)
 郷土の自然に乾杯

対象 / 家族・グループ
 定員 / 40名
 県光青年の家 ☎0833-72-5512

2 / 23(土)
 ふるさとのあそびをたのしもう

対象 / 小学4年生~6年生
 定員 / 70名
 県大島青年の家
 ☎08207-6-0913

3 / 2(土)~3 / 3(日)
 土とたわむれる2日間「陶芸教室」

~萩焼を作ろう~
 対象 / 小学生以上
 定員 / 60名
 県ふれあいパーク ☎0827-63-1513

3 / 9(土)~10(日)
 体験!幕末ロマン

~萩ガラス~
 対象 / 家族および個人
 定員 / 30名
 県萩青年の家 ☎0838-22-4730



1 / 26(土)~27(日)
 ゴックン!大島海の幸に舌鼓

大島の冬の幸である「天然カキ」の調理
 やかまぼこづくり、炭焼きや石風呂体験を
 通して、食と自然を満喫してみませんか。

対象 / 親子とグループ
 定員 / 12家族40名
 県大島青年の家
 ☎08207-6-0913

2 / 16(土)~2 / 17(日)
 春を呼べ!秋吉台 山焼き体験

炎の帯がダイナミックにカルスト台地を走
 る日本最大の野焼き「秋吉台の山焼き」
 親子で体験し、その感動を共有しましょう。

対象 / 親子 定員 / 50名
 県秋吉台少年自然の家
 ☎08396-2-0581



2 / 23(土)~2 / 24(日)
 みんなでGO!GO!お気に入りの
 石城塾

柳井市の伝統工芸「金魚ちょうちん」作り
 と、竹細工で昔遊びを体験するレトロな2
 日間です。

対象 / 小学生 定員 / 30名
 県石城山青少年宿泊訓練所
 ☎0820-48-2108

3 / 9(土)~3 / 10(日)
 洞くつ探検

~こもり見つけ隊~
 洞くつを探検し、洞くつ内に棲む生物を観
 察してみませんか。洞くつの神秘の世界
 を体験できます。

対象 / 小・中学生と家族 定員 / 40名
 県秋吉台青少年宿泊訓練所
 ☎0837-62-0106



編集室から

「ふれあい夢通信」の内容を充実させるため
 に、皆様からのご意見や感想をお待ちして
 います。今後取り上げたいテーマなどがありま
 したら、教育企画室までお知らせ下さい。

山口県教育庁教育企画室
 住所 〒753-8501 山口市滝町1-1
 電話 083-933-4531
 ファックス 083-933-4539
 電子メールアドレス a501001@pref.yamaguchi.jp

学校サポートバンクの登録者を
 募集しています

~あなたの知識・経験を学校で活かして
 みませんか~

県教育委員会では、県内の公立学校で学
 習指導や部活動などを支援していただ
 ける地域の人材の情報を、インターネットで
 各学校に提供する「山口県学校サポ
 ートバンク」を運営しています。すでに幅広い

年齢層の方が伝統分野や国際理解など
 のさまざまな分野で登録いただき、活動さ
 れていますが、サポートバンクを充実させ
 るためにはより多くの方に登録していただ
 くことが必要です。皆様のご協力をよろし
 くお願いします。

<http://www.ysp.pref.yamaguchi.jp/bank/>
 教育企画室
 ☎083-933-4531